

## 令和 8 年度 学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	17	学校名	水戸第三高等学校				課程	全日制		学校長名	木田 智子					
副校長名	野田 浩太郎			教頭名	郡司 美知子				主査兼事務長名	長谷川 達也						
教職員数	教諭	58	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	46	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	4	技術職員等	2	計	117
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	55	185	48	192	32	199			135	576	18				
	家政科	0	40	0	38	0	39			0	117	3				
音楽科	9	12	2	17	3	10			14	39	3					

## 2 目指す学校像

三高プライドを持ち、未来の社会を担うことができる人財を育成する学校

※三高プライド：三高スタンダード（これからの時代を生きる人間として「身に付けさせたい5つの力」：知力・知識力、思考力・探究力、協働力、コミュニケーション力、自己実現力）を身に付け、何事にも主体的に取り組み、他者と共生できるしなやかな心。

## 3 三つの方針（スクール・ポリシー）

育成を目指す資質・能力に関する方針 （グラデュエーション・ポリシー）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三高プライドを持ち、未来の社会を担うことができる人財の育成</li> <li>※「三高プライド」とは、参考スタンダードを身につけ、何事にも主体的に取り組み、他社と共生できるしなやかな心のこと。</li> <li>※「三高スタンダード」とは、これからの時代を生きる人間として「身に付けさせたい5つの力」のこと。</li> <li>①知力・知識力 ②思考力・探究力 ③協働力 ④コミュニケーション力 ⑤自己実現力</li> </ul>
教育課程の編成及び実施に関する方針 （カリキュラム・ポリシー）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○創意工夫を生かした特色ある教育活動の推進</li> <li>○学科の特徴を生かしたカリキュラム開発</li> </ul>
入学者の受入れに関する方針 （アドミッション・ポリシー）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習活動、学校行事、生徒会活動や部活動などに、他者と協働して主体的に取り組む生徒</li> <li>○自分の進路実現を目指し、継続的に努力する生徒</li> <li>○学科の特性に応じた教育活動に対して、積極的に取り組む生徒</li> </ul>

## 4 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
働き方改革	「月平均 45 時間超過者割合」は 31.2%、「月平均 80 時間超過者割合」は 7.7%と、80 時間超過者の割合が増えた。生徒のための、課外指導や学習支援及び教材研究、週休日・休日の部活動指導等により勤務時間外の活動が多くなっていることが原因であると考えられる。	働き方改革に向けた意識の改革と、削減や縮減可能な業務の検討を行い、超過勤務時間の削減に結びつける。

## 5 中期的目標

- 1 進路希望が実現できる学力を身に付けさせるため、主体的で対話的な深い学びを喚起する授業の実践や教育課程等々、各教科と連携・調整を行う。
- 2 生徒の進路目標実現を見据えたキャリア教育を充実する。
- 3 「水戸三高らしさ」の良き伝統を継承するため、自主的・自立的な生活態度を育成する。

- 4 健やかな心身と生きる力を育成するため、部活動や学校行事等を活性化する。
- 5 開かれた学校づくりを推進するため、保護者や地域等との連携を強化する。
- 6 教職員の働き方改革に向け、意識改革並びに縮減や削減可能な業務の検討等をとおして、超過勤務時間の削減を図る。

## 6 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び、自ら考え、自ら探究する力を育む指導</li> <li>・大学や企業等との連携を進め、広い視野で物事を考える力を育む指導</li> </ul>	<p>①主体的に学習に取り組む態度の育成を目指し、自ら学ぶ姿勢を育む指導に努める。</p> <p>②生徒の進路希望を実現できるカリキュラムの検討を進める。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い志の育成を図り、主体的に自己の進路目標を設定させる指導</li> <li>・生徒が設定した進路目標を実現する指導</li> </ul>	<p>③生徒の学力に応じたきめ細かい進学課外の充実を図ることで、学習意欲を喚起し進路実現に結びつける。</p> <p>④進路関係の必要な情報は学校HP等を通じて発信することで、外部情報や本校の取り組みを丁寧に知らせることにより、進路意識の高揚を図る。</p> <p>⑤インターンシップや近隣教育機関と交流する機会を数多く設けるなど、地域との関わりを深めることにより望ましい職業観・勤労観を育む。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に良識ある行動ができる生徒を育む指導</li> <li>・社会人として守るべき基本的なルールやマナーについての指導を、全教職員が継続的に実施</li> </ul>	<p>⑥基本的な生活習慣を確立させる。</p> <p>⑦校則・ルールの意義を理解して主体的に良識ある行動及び落ち着いた生活環境づくりができる生徒を育成するため、分掌・学年及び生徒会等と協働し、全教職員による継続した指導・支援を図る。内規・校則・ルール、指導手順等の整備・見直しを行い、新任者でも指導しやすい環境を整える。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた時間の中で、特別活動や部活動に主体的に取り組ませる指導</li> <li>・特別活動や部活動を充実させ、個性を尊重し互いを高め合う集団づくり</li> </ul>	<p>⑧文武両道の実現に向け、学習と部活動の両立及び進路実現を可能にする環境を構築する。</p> <p>⑨部活動に主体的に取り組む姿勢を育み、各大会での上位入賞を目指す。</p> <p>10 生徒が特別活動の意義を理解し、ホームルーム、生徒会活動、学校行事等の活性化に努める。特別活動においてキャリア・パスポートを活用する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生に対して、学校の教育活動を積極的に発信し、継続的な募集・広報活動の推進と展開</li> <li>・学校教育活動への理解と協力促進</li> </ul>	<p>⑪学校ホームページや学校案内等を活用し、本校の特色、取組み、成果等最新の学校情報を生徒、保護者、県民に積極的かつ適切に発信し、募集・広報活動を活性化する。</p> <p>⑫近隣中学校や学習塾等への訪問や広報活動を展開する。</p> <p>⑬学校説明会、学校公開、体験レッスン等の機会を活用し、中学生、保護者、県民等に向けて、教育活動全般を説明するとともに、特色ある専門学科に特化した情報発信にも努め、専門教育への理解の深化を図る。</p> <p>⑭教育委員会ホームページの活用や報道機関への記事提供を積極的に行う。</p> <p>⑮学年通信や学級通信などを積極的に発行し、学校生活の状況を保護者に伝え、本校の教育活動への理解・協力を促す。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の働き方改革の推進</li> </ul>	<p>⑯教員の働き方改革に向け意識改革並びに削減可能な業務の検討等を行い、昨年度より平均月超過勤務時間1時間以上の削減を目指す。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な授業改善の推進</li> </ul>	<p>⑰授業改善のための校内研修等を充実させ、授業力向上を図る。 ⑱生徒による授業評価の項目「授業満足度（思考力・判断力・表現力等の向上）」について、3.5以上を目指す</p>